第２回大田区男女共同参画推進区民会議議事録

【日　　時】令和５年３月13日(月) 午後２時00分～午後４時00分

【会　　場】大田区役所 202会議室

【参加委員】萩原委員　高瀬委員　小山委員　江川委員　岩下委員　柳沢委員

鈴木委員　中元委員　岩田委員

【欠席委員】佐藤委員　原田委員　須山委員　鹿野委員　米澤委員

【事 務 局】人権・男女平等推進課長

人権・男女平等推進課 男女平等推進担当係長

人権・男女平等推進課 男女平等推進担当

【配布資料】

資料１　第13期大田区男女共同参画推進区民会議委員名簿

資料２　大田区男女共同参画推進区民会議設置要綱

参考　　「東京都パートナーシップ宣誓制度」をよりよく知るための

ハンドブック、リーフレット

【議　　事】

　　　　　　１　開会

　　　　　　２　委員紹介

　　　　　　３　内容

　　　　　　　　(１) 東京都パートナーシップ宣誓制度について

　　　　　　　　(２) 男女共同参画の現状について

　　　　　　　　(３) その他

１　開会(事務局)

２　委員紹介

　　新たに委員になられた、高瀬委員のご紹介をする。

３　議事

(１)東京都パートナーシップ宣誓制度について

　　人権・男女平等推進課課長より、「東京都パートナーシップ宣誓制度」をよりよく知るためのハンドブック、リーフレットを用いて説明。

(２)男女共同参画の現状について

〔ご意見等〕

　・性別はグラデーションがあり、その中で「男はこうだ」「女はこうだ」と決めつけてしまうことの不都合があるが、それが可視化されてきていて、色々と言えるようになってきている状況。

　・ジェンダー平等の問題もあるが、それは「男女共同参画社会基本法」の性別に捉われないということが重要となってくる。「わたしはわたし」「あなたはあなた」という社会が男女共同参画社会。LGBTQの方々が、その人らしく生きていくという社会をつくっていくことも男女共同参画社会と通ずる。求める社会は、自分が自分らしくという社会であって、これは、SDGsの‘誰一人取り残されない社会’‘誰一人取り残さない社会’を目指すことである。

　・LGBTQの方に対して知らず知らずに優位性を持ってしまっている。それに気付いているかどうか。気付いていれば、LGBTQの方を理解し寄り添うことができる。そこに「EQUALITY(エクイティ)＝公平性」がある。Ally(アライ)という言葉があるが、AllyはLGBT当事者の方たちに共感し、寄り添いたいと考え、支援する人たちのこと。

　・男性は24時間働ける人が中心となっていて、障害やご自身に病気があるなどの理由で働けない人は排除されるような考え方がある。それが今あるデフォルトで、ただ、その考え方や仕組みに合わない人が多くなっている。今のデフォルトが男女共同参画社会の考え方に合っていないことに気づいてほしい。

 (４)その他、事務連絡

(５)閉会